

令和7年度 第2回 大学院セミナー

2025年4月1日

分野名 (責任者名)(内線)	災害復興科学分野 責任者名(高村 昇) 内線(7170)
演題	風評被害～ランショ島の放射能汚染事件
講師等	長崎大学客員教授 謝 牧謙 先生
概要	<p>台湾の太平洋側に位置するランショ島には低レベル放射性廃棄物が貯蔵されている。ある日本の専門家が環境放射能調査の名目でランショ島に赴いて放射線測定を行い、60～104μSv/hのホットスポットを発見したと報告した。このことはマスコミで大騒ぎとなり、日本のテレビでも放送された。</p> <p>台湾の原子能委員会が専門家を派遣して同サイトを再測定、結果は0.02～0.07μSv/hのバックグラウンド値であることを示した。しかしマスコミは事実を確認せずにホットスポットを連日報道して社会を騒がせ、国会でも大問題となった。台日専門家による合同調査が行われ、検査結果は、バックグラウンド値であり、その後日本の専門家が持参した測定器(SamRAE940)に問題があり、ラジオ中継ステーションの99.4998MHzの電磁波の干渉を受けていることが証明された。にもかかわらず、その後も類似の内容が学会、雑誌に発表され、人々の誤解を招いた。マスコミの報道姿勢に加え、学術研究者の良心が問われる教訓となった。</p>
開催日時	2025年4月9日(水) 17:00～18:30
場所	原子力災害対策本部2階セミナー室 (オンラインでの参加を希望される方は、 takamura@nagasaki-u.ac.jp までご連絡ください)
備考	謝牧謙先生は本学の客員教授として、原子力災害医療分野において本学と台湾の医療機関との調整役を行う傍ら、現在でも台湾の大学で講義を行っています。本セミナーは原研研究集会、および原子力災害セミナーの一環として行います。

- 先端医療科学特論 (基礎編)
 先端新興感染症病態制御学特論
 日本語
 対面 (Face to face)

- 先端医療科学特論 (臨床編)
 先端放射線医療科学特論
 英語
 オンライン(Online)